

B 級検定員受験レポート

報告者: せいパパ

受験会場: 奥神鍋スキー場

受験者総数: 5名 (内ベルスキークラブ: 2名)

合格者数: 5名

B 級検定員受験のレポートです。

指導員検定会2週間後の3月8日～9日でBC級の検定員検定が行われました。

■ 受験前

当然、指導員検定が終わるまでは検定員検定のお勉強なんて全くしていないので、この2週間での詰め込みが始まる訳です。

指導員検定が終わったからと言って、のほほ～んとはしてられません。

例年の検定員検定は、基本的に過去の問題をベースにお勉強すればよかったのですが、今年は規程初め検定種目やその他関連することの殆どが変更になっている為・・・過去問が使えない状態に。

それ故、過去問で問題傾向だけを押さえ、オフィシャルブック、指導と検定の内容を総点検した。

でも、そう簡単に指導員検定から検定員検定への頭の切り替えができず、また、指導員検定の『やり切った症候群』か？いまいちテンションが上がらず、時間だけが過ぎていく事に。

息抜きで奥神鍋に滑りに行くと・・・ame 先生に見つかり『勉強進みますか？滑りに来るとは余裕ですな～』と言われる始末。

受験前週が1週間出張でホテル住まいであった為、お勉強に集中できたのは不幸中の幸い。

■ 受験当日 1 日目

受験当日の朝、宿に入ると、またもや早すぎると宿の女将さんに怒られる。今回は、C級受験のレオ君も同じ宿。準指仲間と余り仲良く無いとの噂も耳に入っていたが、本当か・・・？(笑)

到着くなり、皆でお勉強道具を広げ、最後の点検。

ま～指導員検定の時に比べれば理論の範囲も限られているので一通りチェックした後、会場の競技センターへ。

レオ君初め準指の先生方は、受付時に県連のネームプレートを頂くが、それを見て『あの時は嬉しかったな～』と懐かしんだ。

B 検は指導員受験の内、福崎の Y 浅さんがお仕事で受験できなかったの、5名で受験。

検定員検定は県連主管なので、何かリラックスしていたが、それを見越してか？担当理事のF本理事が『大丈夫ですか？問題難しくしてますよ～』

と言い出された。

真顔なので冗談なのか？本気なのか？

C検の方は、指導員監督のK谷先生が担当されていて、過去問の中から出そうなところを冗談ぽく言っていたら、B検担当のT下先生が『指導員の皆様は聞かなくて良いです！』と言って笑いを誘っていた。

10:00 理論開始です。

初めはお決まりの検定員の任務。

ま〜テツパン問題なので楽勝。

次から次へと規程の問題が続く。

いくつか想定外もあったが、規定は一通り読んでいたので、記憶を探りながら全部埋めた。

次に検定種目の問題。

今回から検定種目がかなり変わっているの、過去問よりも出題の問題数は多かったと思う。

ここでも想定外が！

ジュニア検定1級の種目。

加盟団体が決める受験種目。

皆さん、理解してます？

はい、全く守備範囲外でした。やられました。まんまとハマりました。

でも受験種目なので、ありそげな答えを書いておいた・・・が、ここは全滅。

最後には、検定前日に教科書を見て目に留まった斜面設定の問題。

教科書最後の2ページ前だったか？T下先生なら出しそう・・・ビンゴでした。

因みに・・・『なすがまま』の斜面ではないです。

記憶から消えないうちにと必死で書き、一通り書き終わったら・・・凄く時間が余った。

冷静に回答用紙を見ると、凄く汚い字。

余りに酷かったの、書き直してもまだ余る時間。

退出可能の1時間が来た瞬間、速攻挙手し退出。

退出時に、後で控えておられたK谷監督が『ブシュ〜？』と指の合図で笑顔で言われたが、

『まだ呑みません』と丁重にお断りした。

会場を出て、ドツ〜と肩の荷が下りた。

さあ〜後は実技、採点するだけ。

ご存知の通り、兵庫県ではテクニカル検定でBC級検定を行う。

教科書に書いてある評価の観点に則って人の主観で行う評価。

まずはクラウン検定でお試しするが・・・まあ大抵は合う。

テクニカルが始まると、検定開始。

数秒〜10数秒で滑りを見極め点数に置き換える。

ただそれだけだが・・・重い。

実際にクラブでも過去に検定をさせて頂いたが、それはもっと重かったな〜

1日目は、フリー滑降の1種目だけで、ジャッジペーパーを回収されて終了となる。

再度、因みに・・・総合滑降ではありません(笑)

終わってから宿に速攻撤収し・・・風呂、夕食後の大宴会～
準指に合格された女性の方々も同じ宿でしたので、皆で大騒ぎ。
準指のときのレオ君の醜態を聞いていた。
その張本人が我が指導員チームに居る。
途中でレオ君が見えなくなり、何処行った？と聞くや否や・・・朝来のA川さんが

『潰しますか?!』と。

あ～恐わ。
僕が年上で良かったとつくづく感じる。

■受験2日目

この日は残り2種目の採点。
不整地小回りとナチュラル小回り。
5線で不整地、6線でナチュラルです。
こちらも昨日の要領で淡々と進む。
11:00には我々の検定は終わり、11:30からの発表に向けて一旦宿へ撤収。

合格していることを祈って登録料等を準備し、いざ本部へ。
理論がそれなりの自信もあったので、そう緊張も無かった。

主任のT下先生より総評。
勉強期間は短い、過去問からの出題も多く、傾向も解るのでもっと勉強して下さいとお言葉・・・

叱られた。

合格発表。

その前に・・・合格者に渡されるバッジがBC検とも人数分がテーブルに無い。
皆で、どう言う事???マジで!!!そんなことあるの???
何てことはありません。後に隠れていただけでした。

で、合格発表・・・BC級、全員合格です。

が・・・

C検で、京都府連の女史が受験に来ていた。
C検のTOP合格でした。
何してんの?兵庫県連C検チーム!!!
ま～その女史、指導員の先生だと言う事だが・・・

公認証、バッジ、ライセンスを頂き、ホントに2014年度の行事が全て終了した。

■最後に・・・

個人的には、合格も含め色々の良い結果で終わったと思う。途中はハラハラ、ドキドキだったが。

指導員受験の時にも書いたが、当然、ここまで来るのには大勢の方々に助けて頂いた。

県連の先生方、クラブの皆様、他のクラブの方々まで、昼食中に声を掛けて頂いたり、メール頂いたり、FBでコメント頂いたり。

それに、同じ受験者の皆様。

絶えない笑い、ホントに良い仲間と受験できたからこそ成し得た結果と思います。

今後もこの輪を大切に、指導員&検定員として恥ずかしくない行動、言動を心掛けたいと思います。

し・か・し …… 検定は難しい。

後は・・・センターを横ちゃん先輩にお任せし(^_^)・・・僕は前走でも。